

龍
神
様
の
巫
女

Adult Only R18
成人指定

身を捧げるべき龍と
恋をしている男性と



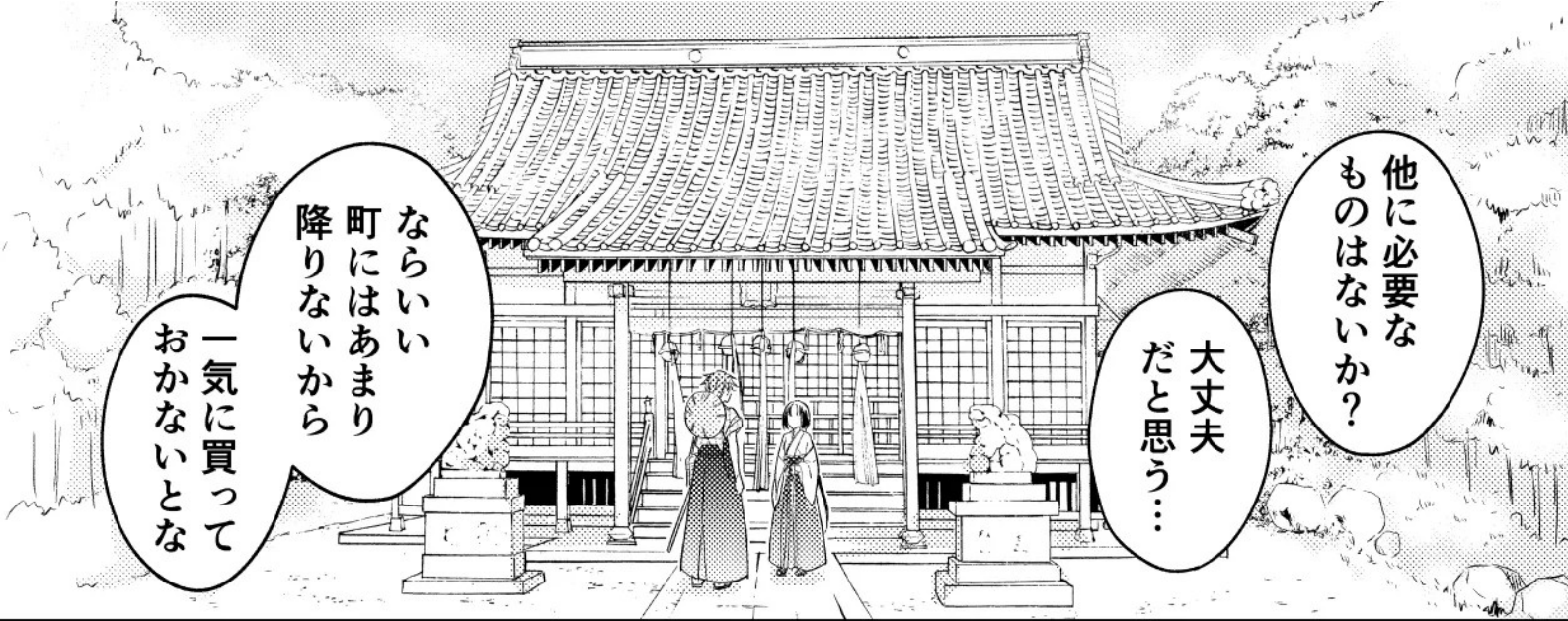
身を捧げるべき龍と
恋をしている男性と

龍
神
様
の
巫
女



Adult Only R18

成人指定



他に必要なものはないか？

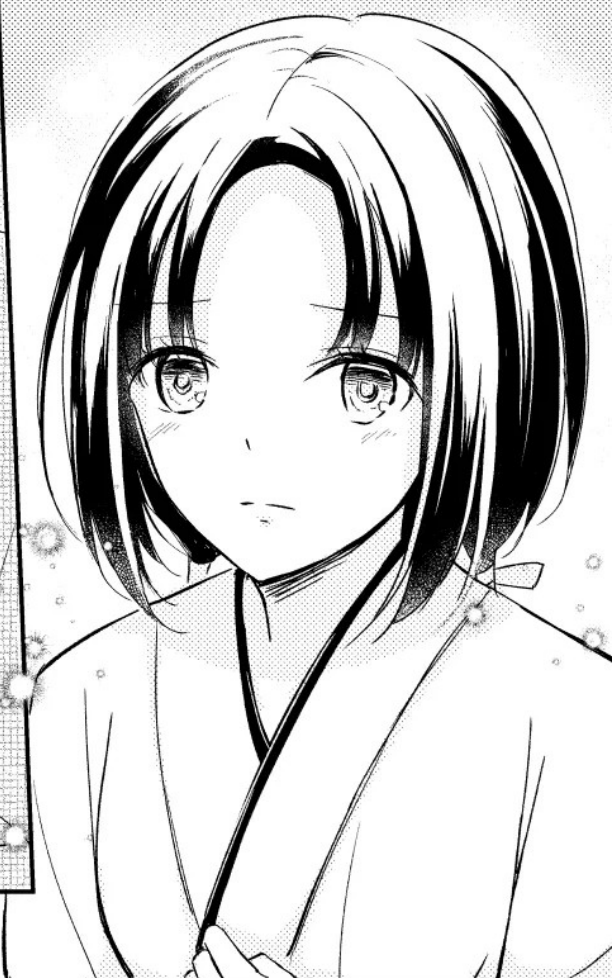
大丈夫
だと思っう…

ならいい
町にはあまり
降りないから

一気に買って
おかないとな



……



いって
らっしゃい

じゃあ
行ってくるな

うん…

そんなに寂しそうに
しなくても
二、三日で戻るよ



まったく
ああいう顔されると
困るな...

こっちは妹だって
言い聞かせて
耐えてるっていうのに...

ザッ
ザッ
ザッ



こっちは
おばばの遺言で

お前から
巫女を守れと
言われてるんだ



...またお前から
いい加減懲りて
もらいたいんだが

悪いが
追い返させて
もらうぞ

はま…

そんなに
寂しそうに
してたかなあ

私は龍神様の
巫女なんだから

大和のこと
好きになったら
駄目って

わかっては
いるんだけど…

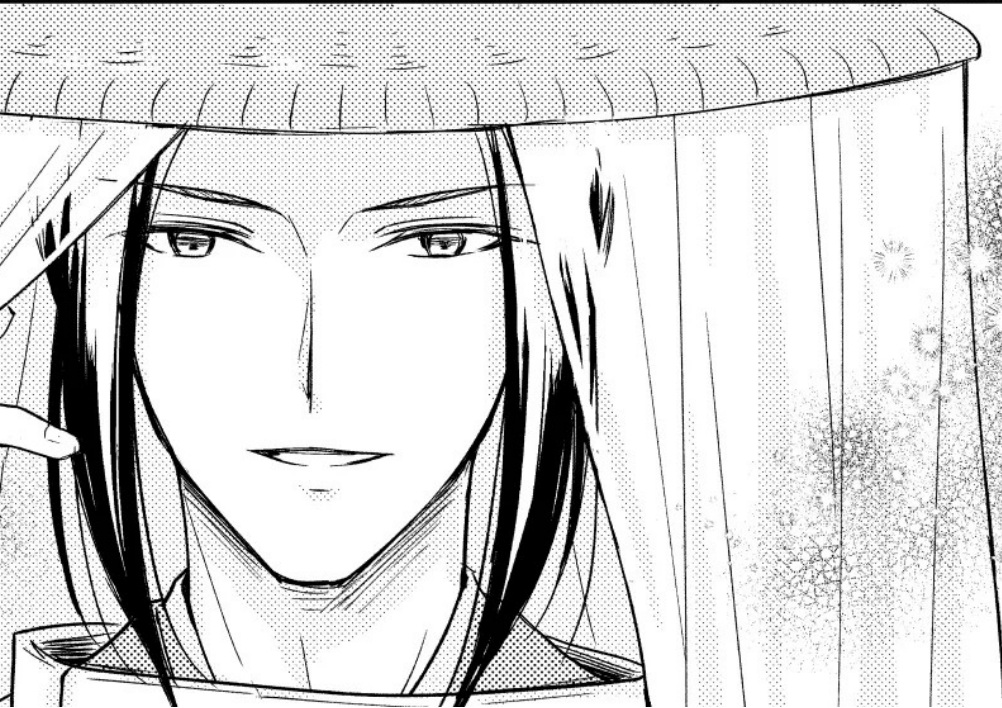
サッサ

足音…?

サッサ
サッサ
サッサ



こんにちは
巫女様





：祭司様
どのような
ご用でしょうか

巫女様

本日は
お役目を果たして
いただきました
参りました

役目：
ですか？

今、国が
荒れているのは
巫女様もご存じ
でしょうか？

年々作物が実らず
稲の収穫量は減り
民は飢え、国庫も
ひっ迫しています

それは、私が
龍神様を
呼べないから…

でも、どうすれば
いいの私にも
わからなくて

いえ、
龍神を呼べるかは
さほど問題では
ありません

年々不作が続いたのは
巫女様がまだお役目を
果たせる年齢では
なかったからです



…どういう
ことですか？

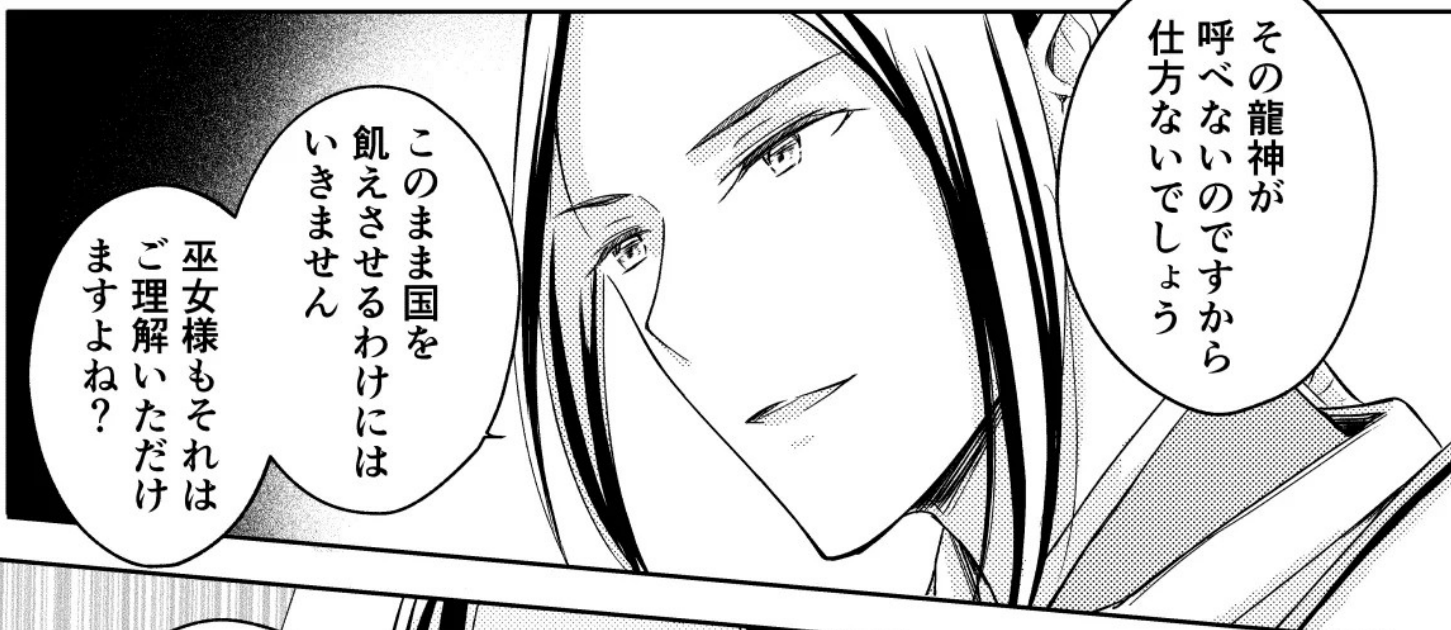
ヒィ…



巫女様の
本来のお役目は
男の精から土の気を
産み出し、国に豊穡を
もたらすこと

巫女様にはこれから
我々の相手をして
いただきます

でも私は
龍神様の巫女で…



その龍神が
呼べないのでですから
仕方ないでしょう

このまま国を
飢えさせるわけには
いきません

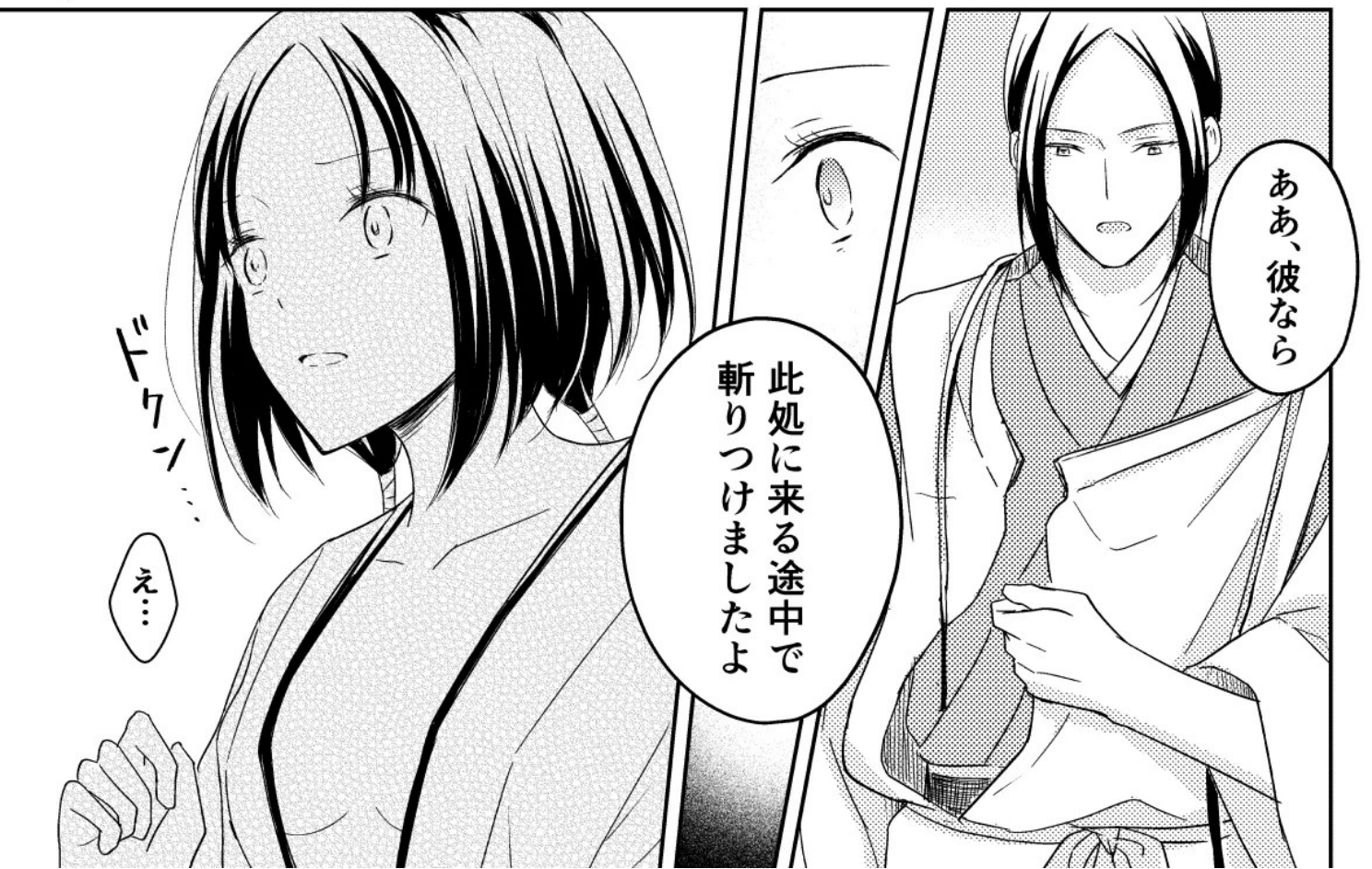
巫女様もそれは
ご理解いただけ
ますよね？



まあ人間の場
合
出せる量に限り
がありますので

複数
を相手にして
いただくこと
になります

がんばって
ください





以前返り討ちに
されたので

今回は毒を
用意してみたのですが
うまくいきまじた

ひふふ...

そんなことより
ご自分の心配を
なさっては
いかがですか？

カッ
カッ
カッ



いや...っ!!

もみ

もみ

やめて
くださる...っ

やっ...

龍神様...っ!!



やはり貴女には
龍神を呼ぶ力は
ないのでしょいか

しん...

来ませんね

溢れてくる

巫女の体とは
すぐに男を
受け入れられるよう
できているのですね...

ハ...

ハ...

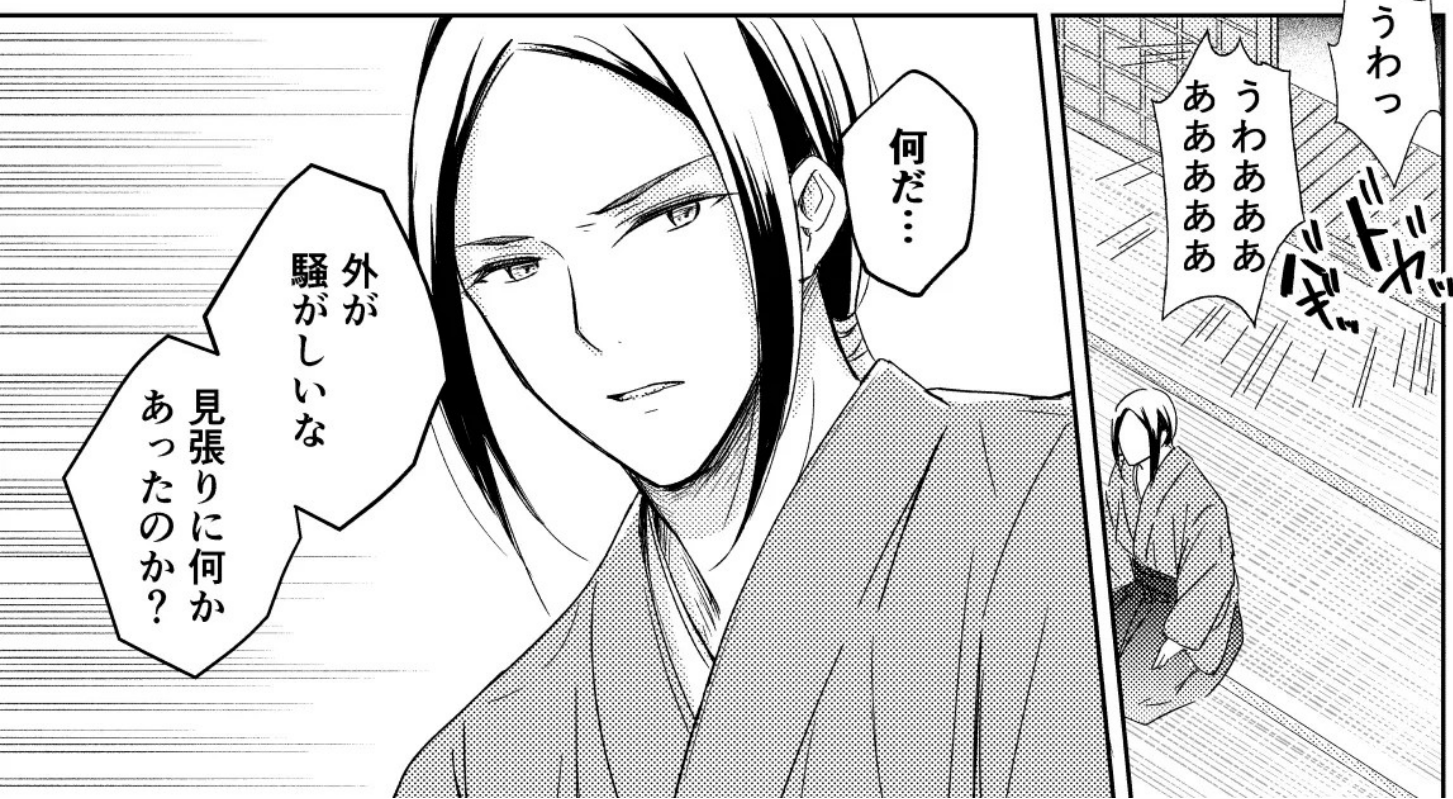


ハ...

う...

泣かなくても

すぐに
気持ちよく
なれますよ



何だ...

外が
騒がしいな

見張りに何か
あったのか?

うわっ

うわあああ
あああああ

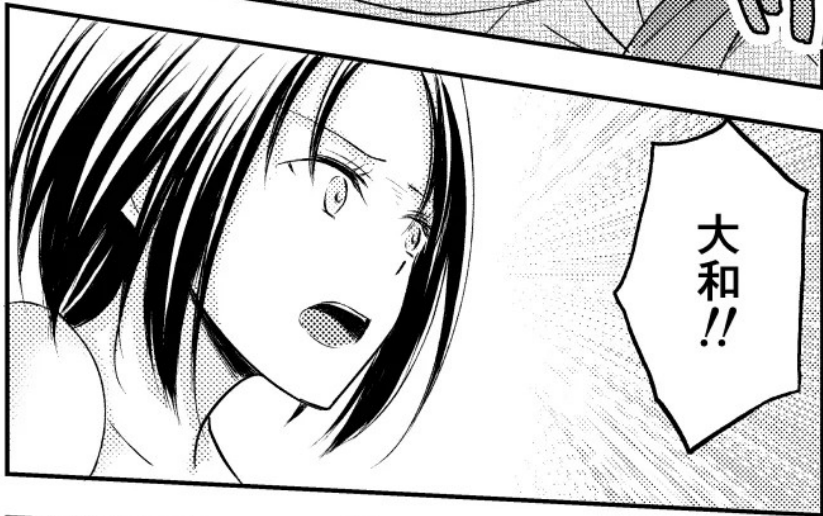
ドッ
ドッ



龍神が…
現れました…!!

祭司様
お逃げください!!





大和!!



あ、ありがとうございます……！

来る途中で拾った
毒は抜いておいたぞ

お前は
湯につかってこい
あいつらを
片付けておく



龍神様……



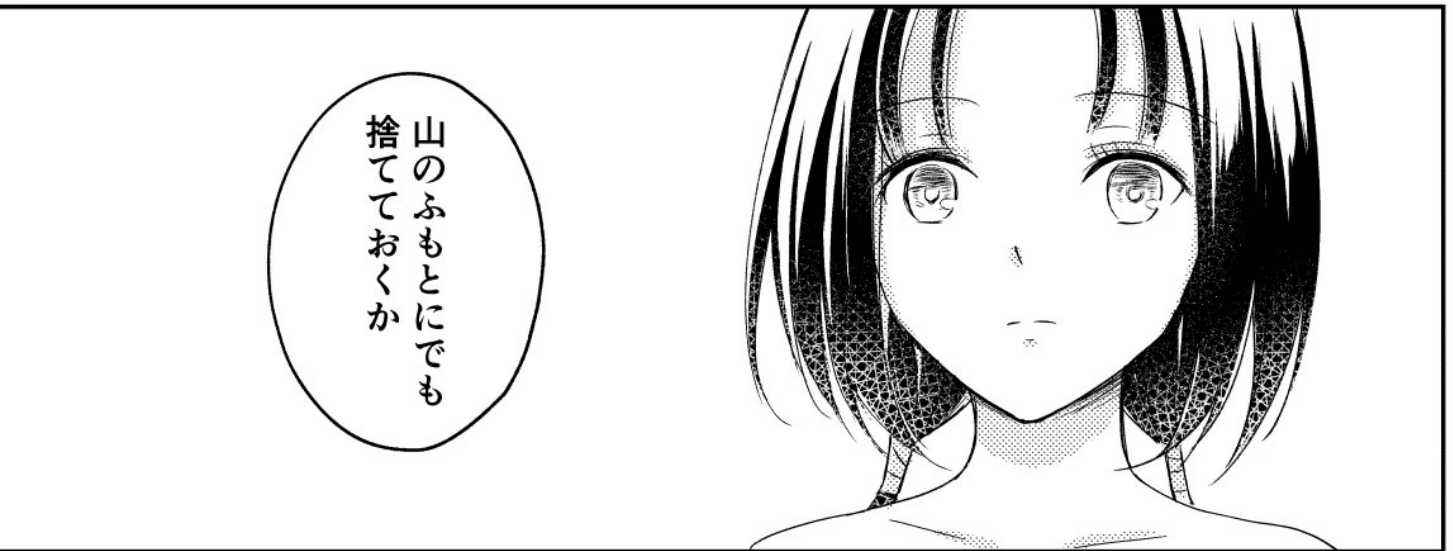
殺せばお前は
俺を怖がるだろう



祭司様たちは
生きてるん
ですか…？

殺しては
いない

よってたかって
雌を犯す雄など
生きる価値もないが…



山のふもとにでも
捨てておくか



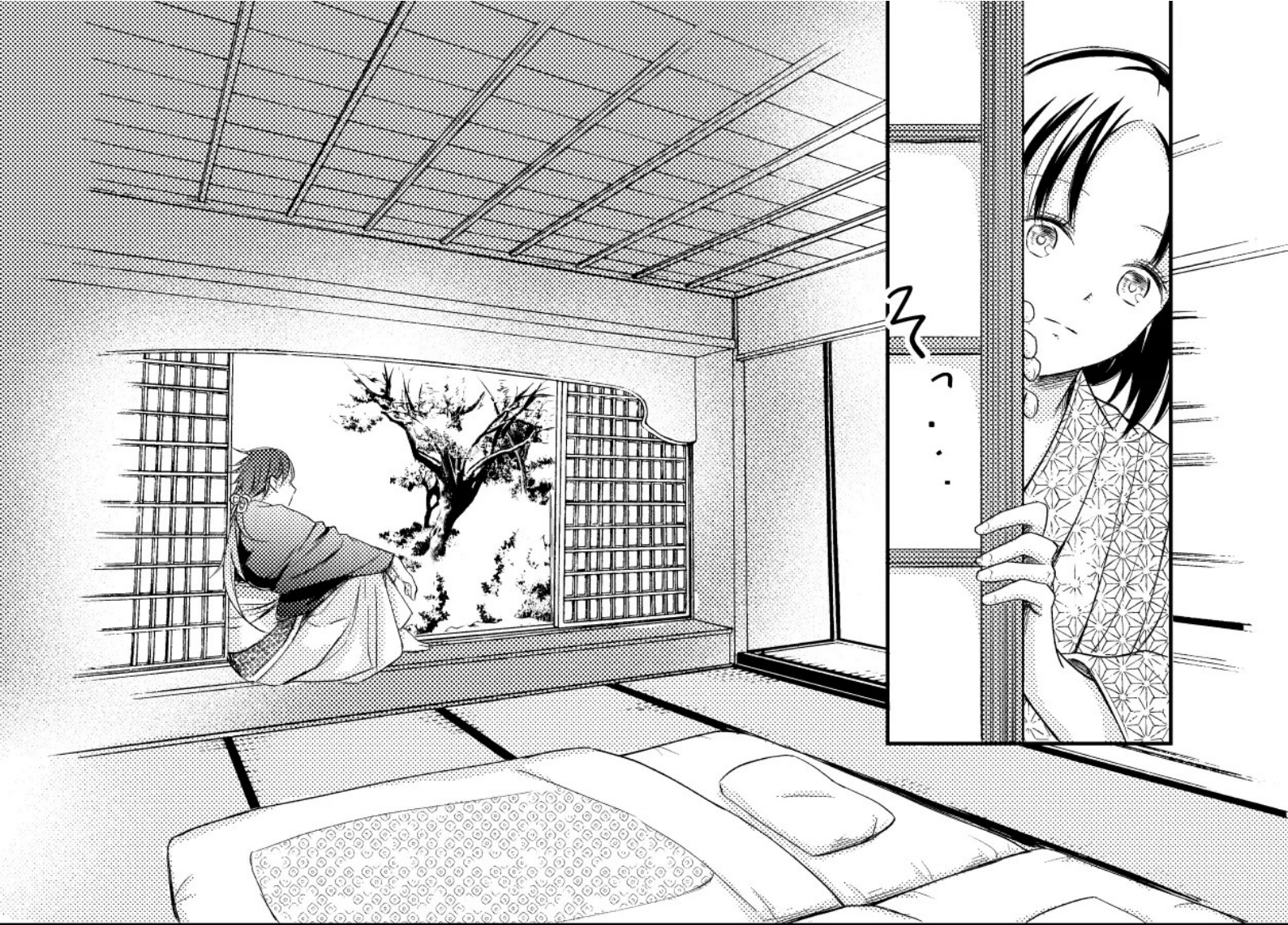
は、はい…！

何をしている
さっさと
湯に入れ



そいつも
部屋に運ばねばな…
面倒だが

怖そうだけど
優しい…？

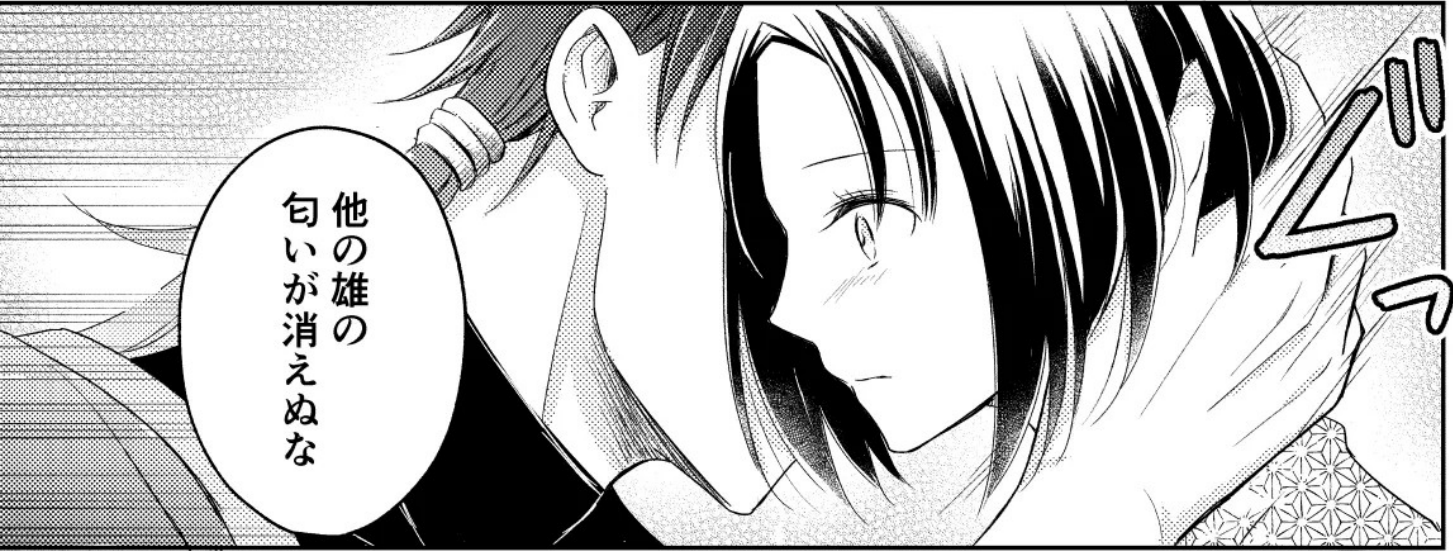




ドキ...

私、これから
龍神様と.....

龍神様って
布団敷くんだ...
...角が
なくなってる



他の雄の
匂いが消えぬな



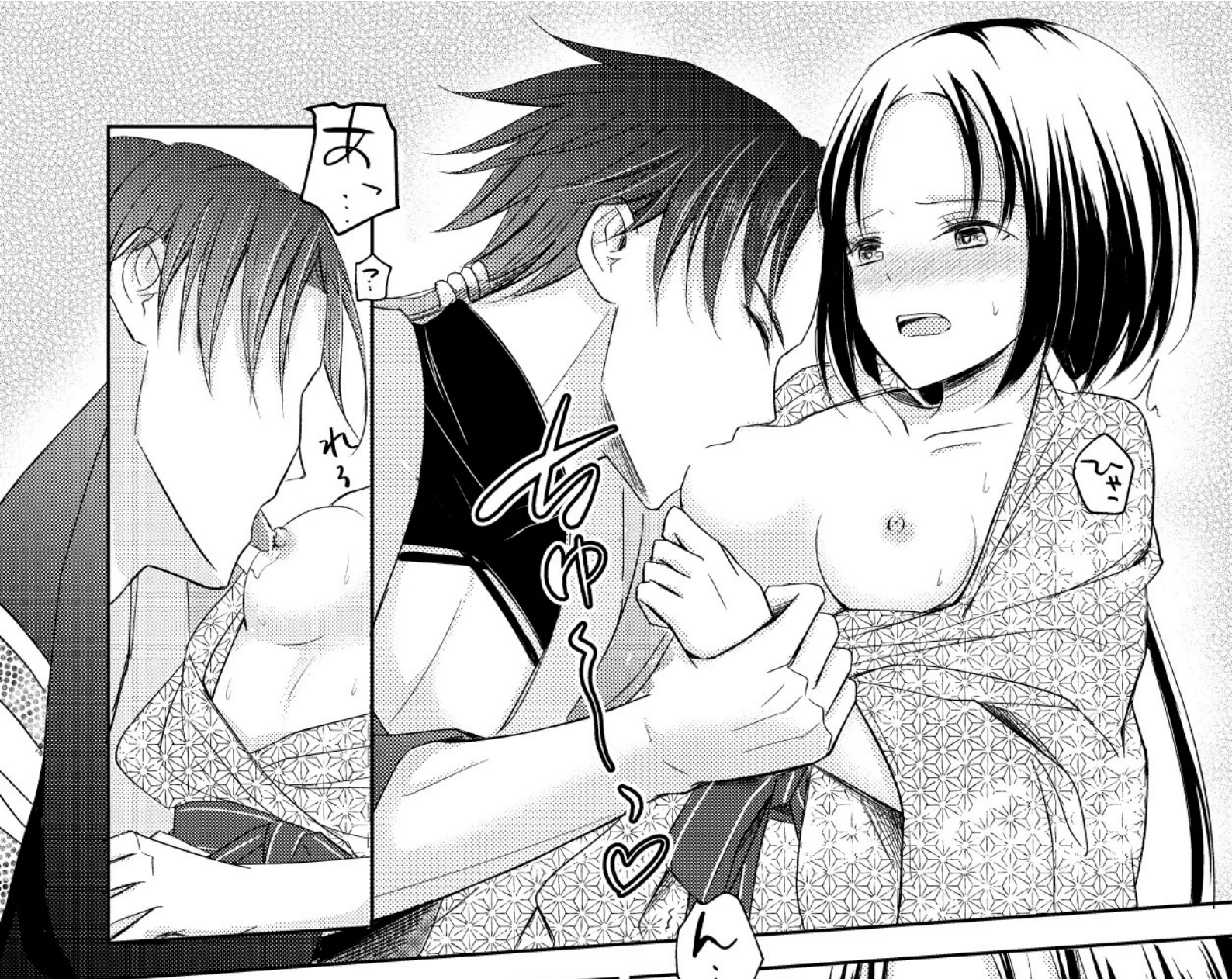
ヒューッ

変わらず
愛らしい胸だな

まあこれから
消すからいいが

すみません...

俺がいるというのに
その身をべたべた
触らせるからだ





啜えろ



いいえ
私は龍神様の
巫女ですから…

そうか
それならばよい…



口に含んで
舐めてみる



ああ
雄のものを
初めてか
見るのは



そうだ

かっ



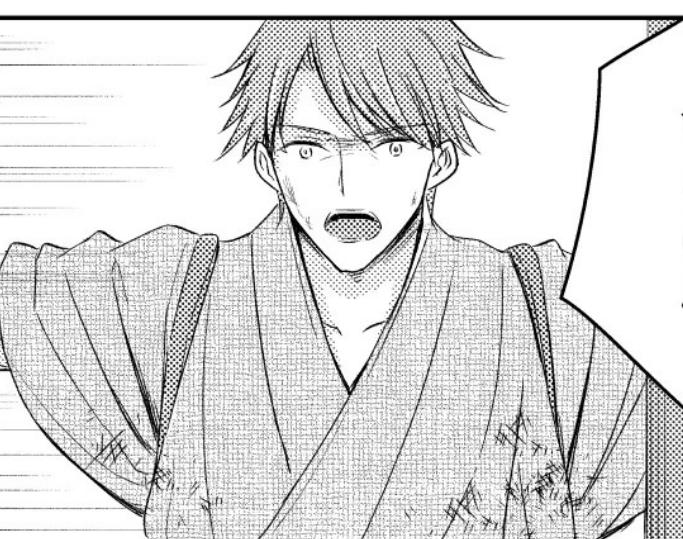


騒がしいのが
来たか…

りゅ、龍神様
そこに
お座りください！

何だ？

ダッダッダッダッ



いろは！！

ヒキッ



なんで
隠れるんだ

さあな

もぞ…



な



何だ？



…お前も毎度
変わらん

そして最悪の形で
俺の巫女を奪っていく

お前には俺に
逆らう力など
ないことを

今のうちに
教えてやろう

あぐ…
あ…

ズン

大和…っ!!





……っ

い……ろは……



動けなく
したただけだ

しっかり
見せてやるといい

お前が
誰のものなのかを

いろはに
何をした!!



もっとよく
見せてやろうか

い、嫌です...っ!

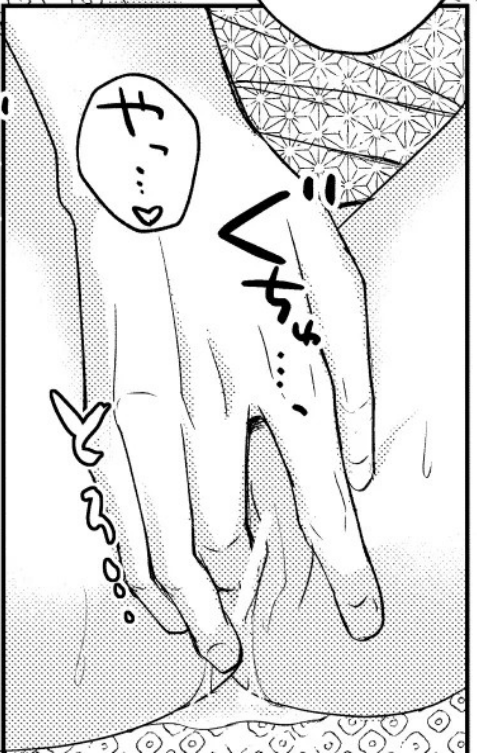
ん...っ

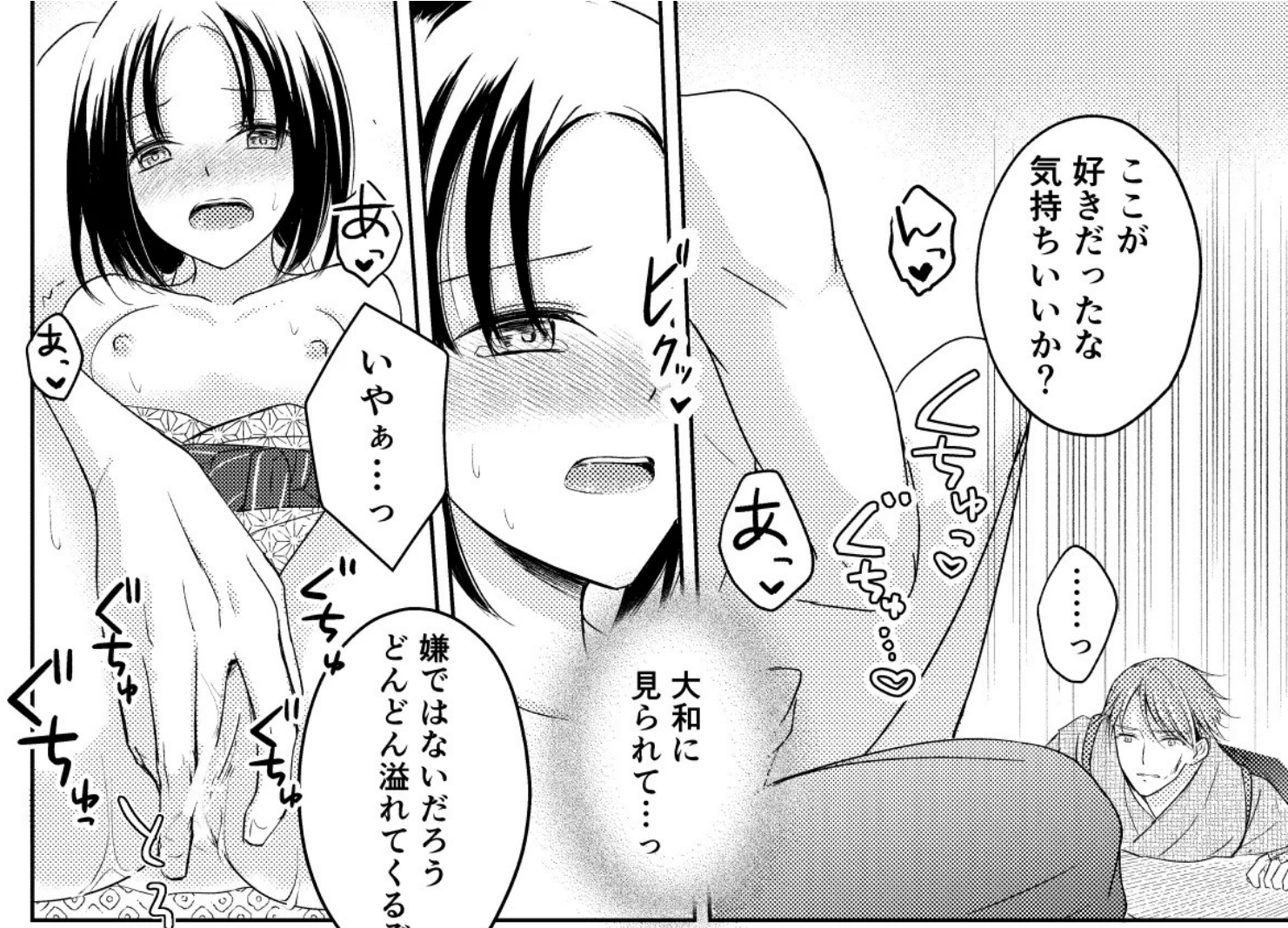
見れば
わかるだろう

大丈夫だ
すぐに何も
わからなくなる

龍の巫女とは
そういうもの
だからな

たいして
触れていないのに
溢れてくるな...





ここが
好きだったな
気持ちいいか？

……っ

大和に
見られて……

嫌ではないだろう
どんどん溢れてくるぞ

いやあ……っ

あ♡

あ♡

くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

あ♡

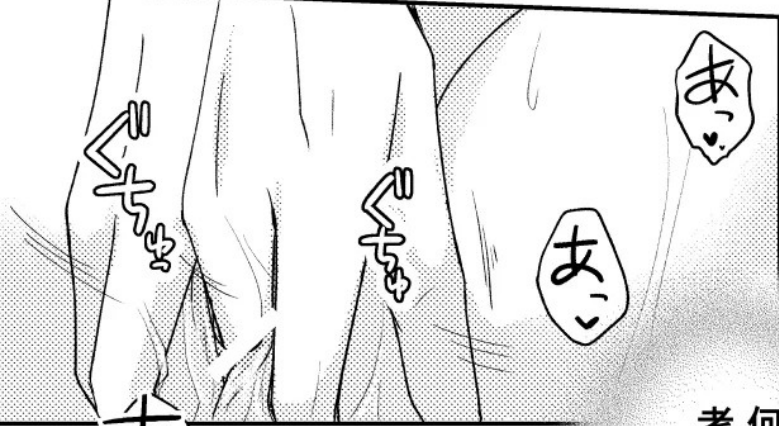
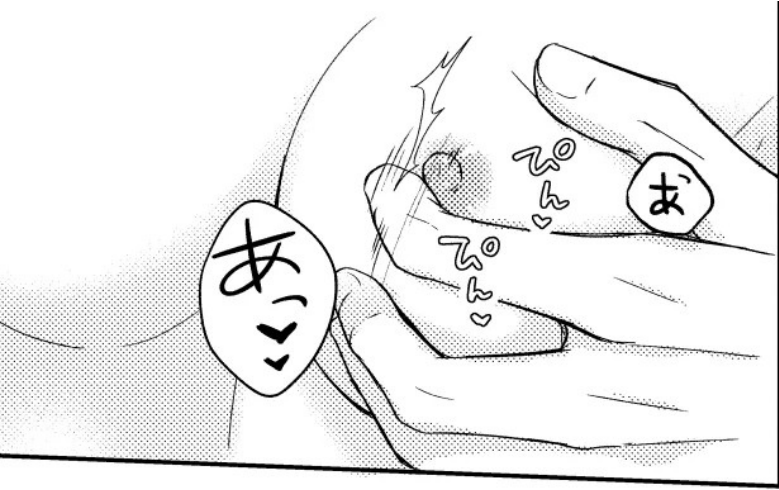
ち、ちがいます……っ

好いた雄に
見られて
感じているのか？



そうか？

ま♡



何も
考えられな……



お……おん……





では、
仕置きが
必要だな？

ふい
ふい!?

ガ

ぐ
ぐ



お前が
誰のものか
しっかり
わからせてやろう

あ
あ
あ
あ

ぐ
ぐ

ト
ト
ト
ト



大和が
好きなのに…っ



よい
何も考えるな

はあ…

はあ、

お前は
ただ快樂に
溺れていればいい…っ



締まるな…っ

一番奥を
突き上げられて
気持ちいいか…っ？



今からここに
熱いものを
注いでやるぞ…

くっ

あぁあ…っ

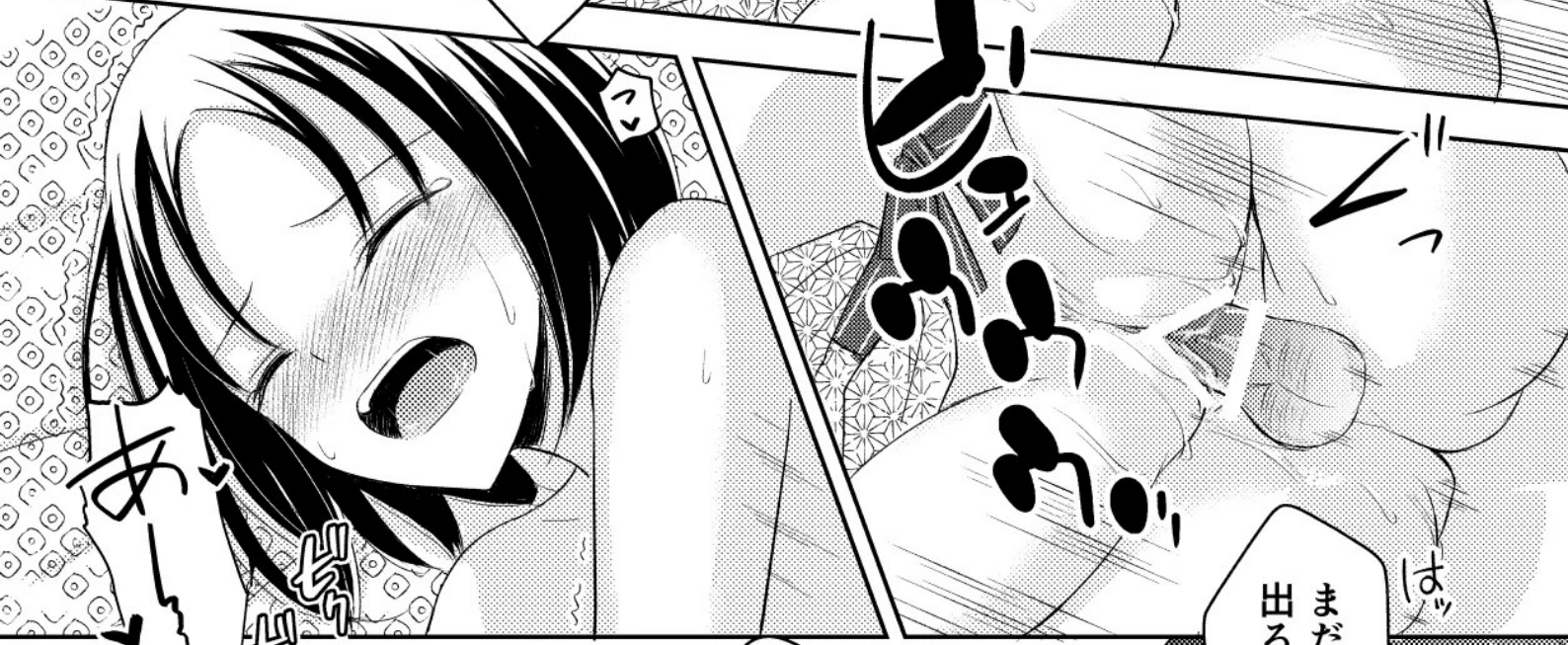
せつ
せつ



出すぞ...

あゝ

はっ



あゝ

はっ

はっ

はっ



あゝ...

はっ

まだ出る...

はっ

はっ



気を失ったか...

土の気が
溢れ始めたな

ちゅっ

んっ



巫女の
身を清めてやれ

.....



暑い...
湯に入るか

はま...



巫女は？

ぐっすり
寝ている

そうか
お前も飲め

いらん

俺の機嫌を損ねると
巫女がどうなるか
わからんが

……



お前は、
いろはのことが
好きなのか？

愛しているぞ？



…焼き餅か

傷つけない
わけではないが、
お前と巫女か
相愛なのを見ると
頭にくるのだ



そんなに心配なら
共に愛でるか？

…なにを…



まあそうだな

お前は
俺に犯される
巫女を見て

俺を殺したく
ならんのか？



…自分の役目を
いろはもわかっている

俺は、いろはが
傷つかなければ
それでいいんだ

嫌われるような
ことをしなければ
いいだろう

だからお前を
生かしている

巫女が俺を
嫌わぬ限りは
優しくあろう

…



なっ…

人間には
媚薬のような
効き目があるらしいぞ



は…っ

何を入れた…っ

ただの酒だ
龍にはな

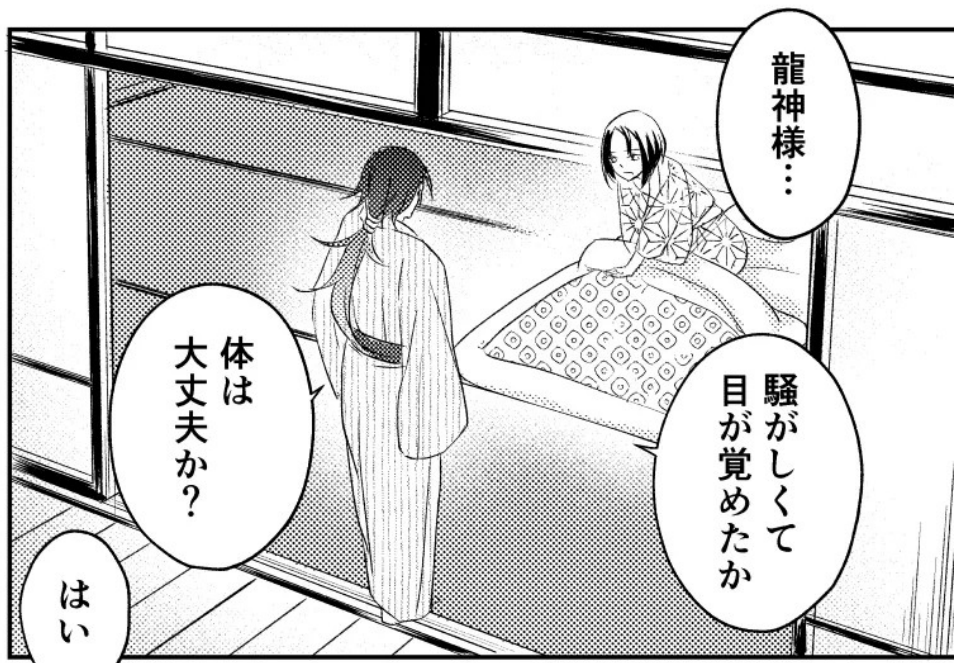
すま

ドクッ
ドクッ



来るな…っ!!

ちゅ



龍神様…

騒がしくて
目が覚めたか

体は
大丈夫か?

はい



…大和?

すま



お前に欲情して
つらいのだそうだ

いろはは…
来るなって

大和…
どうかしたの？
大丈夫？



よい

傍へ
行ってやれ



勝手なことを
言うな…っ

はあ



欲情して
つらいって…

もーっ

慰めて
やれるか？

先ほど俺に
したように
すればいい

ハママ…



や、大和
こっち向いて？

いいから
そんなこと
しなくて…！

だって
つらそう…

はは、いつまで
耐えていられるか
見物だな

お前は
黙ってろっ！

お布団
行こう

待て
ひっぱるな



はっ
あ...

おっ
えっ



あんまり
見るなっ

ぴくぴく
してる...



すごい...
気持ちいいよ...

じゅわん

じゅわん

どれ

わん
わん



ん
はっ

んっ



やまほ
ひもひいり？

...!!

わん





そいつの相手は
もういいだろう



指では
奥まで届かず
物足りなかった
だろう

奥に当たって
いるのがわかるか？

今満たして
やるぞ……

あま
あま
あま

あま

あま

あま

あま

あま

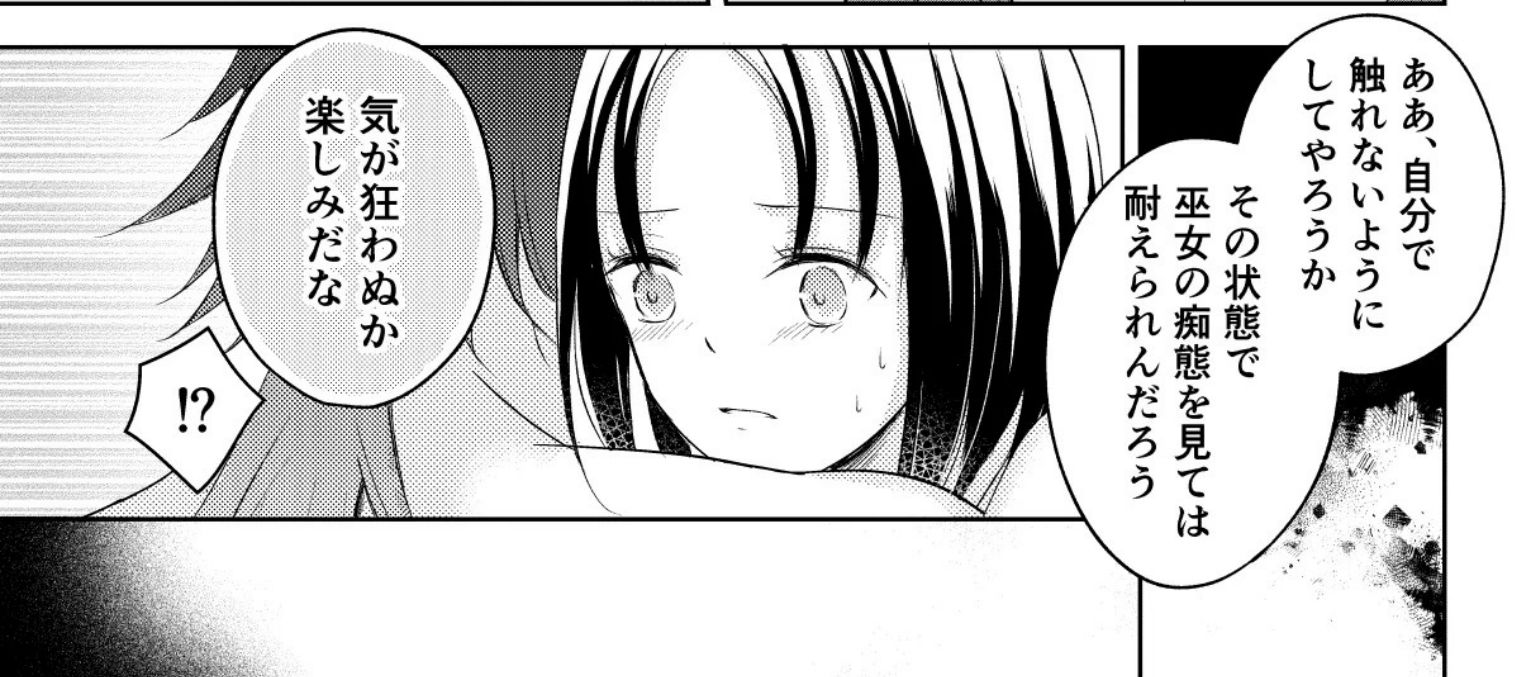
あま

あま

だ
あま

ぬる
ぬる

だ
あま



龍神様：
大和のも
ほしいです…

いろはっ!?

…：ならば
自分の口で

尻の穴に
挿れてほしいと
ねだってみろ

ま

あ…

おしりに…
いれて…

何をだ？

やまとの、
その…
おっきいの…

誰の

いろはの…

お…
お…
お、おしりに

もうららっ

…っ

…



なに
気持ちが
いいだろう？

いろは…っ
ごめん
止まらない…っ

はっ…っ

は



で…る…っ

もう…っ

あ…っ

はっ



すぐ抜くから…

ごめ…
中に…

はっ

あ



また
気を失ったか

しやっ



いろは……
大丈夫なのか

土の気が
治まれば
目を覚ます

俺もひと眠り
するか……

起きたら巫女と
共に湯に入るのも
いいな



殺したくなる
と言っていたら
どう

やわ……




まあ昔
殺したことも
あったが

!?



……いいのか

俺も……こんな……




お前を殺すと
巫女が心を
病むのだ

巫女は心を病むと
大気へ還る

何千年も俺と
共にいられる
生がありながら


これまで
何度も転生を
繰り返してきた



儀式だの何だのと
国の人間に
犯されていた時も


頭にきて
いろいろ消し炭に
した時も

ああ、俺の手で
心を折ったことも
あったか…



無論
お前を殺した
ときもな

それでおばはは
祭司をいろはに
近づけるなって…



待て、俺を
殺したって…

俺も
生まれ変わって
いるのか？



……さあな

はあ!?

とにかく
此度は巫女を
転生させる気はない

お前が傍にいて
愛されていれば
心の支えとなるだろう



お前は足枷だ

巫女を俺へ
繋ぐためのな



龍神

過去に大和(初代)と戦い巫女を奪い取った。
一途に巫女のことを好きなのだが巫女は必ず大和を好きになるため、大和を殺したり嫉妬で巫女を追い詰めて何度か転生させている。
諦めて今回は大和を利用しようと思った。
巫女にも優しくしようがんばっている。



いろは(巫女)

土の気を生み出すことで国に豊穡をもたらすとされる巫女。龍神を呼び出し、その身を捧げるのが使命だと教わり育った。
魔女族という種族で、快樂には弱い。



大和

初代巫女とつがいになった龍。龍神との争いに破れ命を落とし、その後龍の力で転生を繰り返している。
つがいの力なのか、必ず巫女に近い者として生まれ、何度も恋をしている。
いろはが龍神のものになるのは仕方がないが、傍で守りたいと思っていた。

前「拾った」シリーズと同世界観(一部改変)です。

◆◇龍(竜)族

世界の国々を創った種族。好戦的で争いが絶えず、雌がほぼいないため今は数匹しか残っていない。

今作の国では神と呼ばれているが神様ではない。

◆◇魔女族(この国では巫女)

世界に4人しかいない。精液を糧に火、水、風、土の魔力元素を生み出し、世界に循環させている。不足すると自然災害が起きる。

肉体は不老不死だが心を病んだときのみ、大気に還り転生する。

恋や愛という感情がわからない(今作はこの設定はありません)

こんにちは、Liry Rain 柚りゆうです。

今作をお手に取っていただき本当にありがとうございます!!!!

前作で童話ものを描きます、と言っていたのですが違う話になりました。

もし、もし期待してくださった方がいたら申し訳ないです!!

今作は描きたかった和風、相変わらず好きな転生もの…

襲われているといところを助けに来るシチュ、

そして支配者がいる3P、など好き要素を詰めています!

少しでも楽しんでいただけましたでしょうか…?

これからもより精進いたしますので過去作次回作ともども

お手に取っていただけたらとても嬉しいです!

評価、レビュー、応援コメントをくださる皆様、

励みになります!どうもありがとうございます!!

龍神様の巫女

2021.07.07

Liry Rain/柚りゆう

yuzu27r@gmail.com

Twitter:@liry_rain

<https://ci-en.net/creator/5921/>

無断転載、複製はご遠慮ください。

